

2011年度 町田市立国際版画美術館 講座受講生作品展

当館の創作講座に参加された方々と講師による作品展です。

木版画、リトグラフ、スクリーンプリントの作品約30点のほか、
版画の道具なども展示いたします。

意欲あふれる作品のかずかずをお楽しみください。

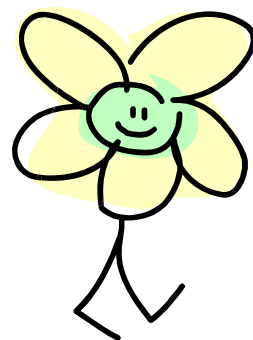
入場無料!

2012年5月29日(火)～6月3日(日)

午前10時～午後5時

※初日は午後1時30分から開場、最終日は午後4時まで

会場：町田市立国際版画美術館 市民展示室 B室



お問い合わせ

〒194-0013

東京都町田市原町田 4-28-1

町田市立国際版画美術館 普及係

TEL 042-726-2889



版画でつながる
アートの町田

25th
Anniversary

2011 年度の創作講座について



創作講座 木版画

この講座は浮世絵版画などに用いられる水性木版画（多色摺り）の技法で制作しました。伝統的な技法ですが、下絵の再現を目標とはせず、摺り重ねながら絵を作ることに重点をおいた指導と進行でした。また、講師による彫りや様々な摺りの実演に刺激をうけ、ぼかしなどにも挑戦しました。受講生の皆さんは、自分なりの画題を見つけて制作を楽しみ、講座の最終回に行なった講評会でも活発な意見交換がおこなわれました。

講師：瀧 将仁 修了者：14名 2011年4月20日～6月29日（毎週水曜日・全10回）実施

創作講座 リトグラフ

リトグラフは水と油が反発する作用で成り立つ版画です。18世紀末にこの印刷術が発明された当初は専用の石灰石を使ったため「石版画」とも呼ばれています。その工程は非常に複雑でデリケートですが、鉛筆で描いた様なタッチから水彩画の様な淡いトーンまで、描いた調子をそのまま色鮮やかに表現することができる魅力的な版画です。この講座では、今日石版石の代わりに多く用いられているアルミ版を使っての制作に挑戦しました。また、版の表面を削ったり、水彩の着彩と重ねたりという応用技法も学び、受講生の方々は皆、新しい表現との出会いを大いに楽しみました。

講師：梅津 祐司 修了者：10名 2011年10月5日～12月14日（毎週水曜日・全10回）実施

創作講座 スクリーンプリント

スクリーンプリントは、四角い枠に布(※)をきつく張ったものを版として用いる技法で、現代美術の表現手段として重要な役割を担ってきました。明快な色面とグラフィカルな表現が特徴ですが、油彩画のような厚みや様々な質感を表現することも可能です。この講座では、受講生の皆さんが描いた下絵をもとに、それぞれのペースで版を刷り重ねて作品を完成させました。講師による刷りの実演では、作家ならではの制作技法を見ることができ、現れた美しい色合いと独特な質感に感嘆の声があがりました。（※薄いテトロン。昔は絹を使用したことからシルクスクリーンとも呼ばれる）

講師：廣澤 仁 修了者：10名 2012年1月18日～3月21日（毎週水曜日・全10回）実施

2012 年度も各種講座を開講予定です

※詳細は美術館ホームページ (<http://hanga-museum.jp>)、リーフレット『講座のご案内』（館内配布）等をご覧ください

ご参加を心よりお待ちしております

